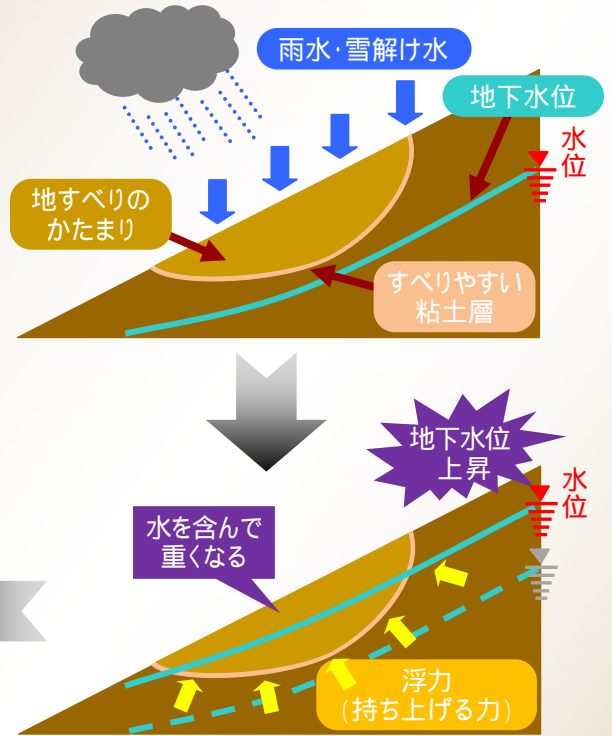


「地すべり」とは？

地すべり発生のメカニズム

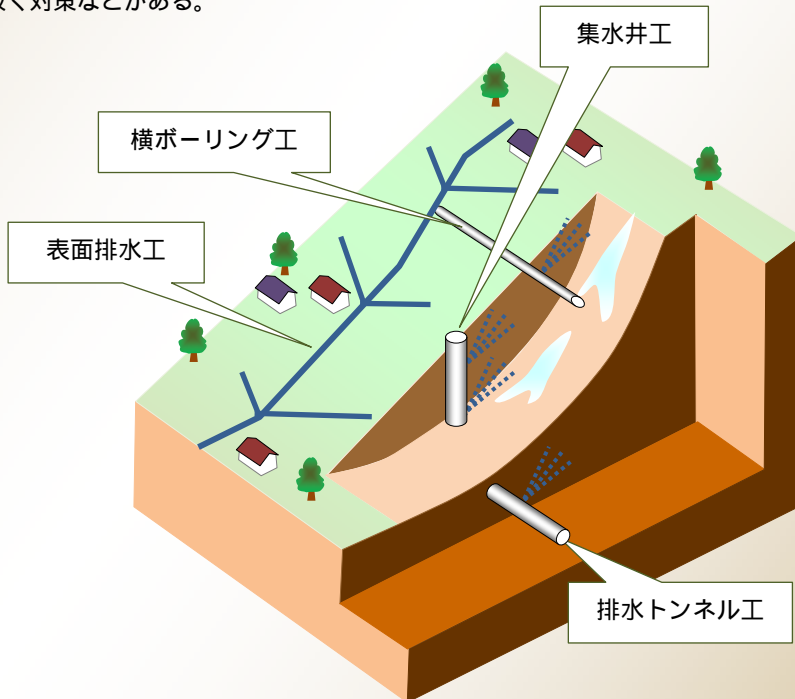
地すべりとは、土地の一部が地下水などを原因にすべりを起こし、移動する現象である。

地すべりは、一般に粘土などの水を通しにくい地層の上の層が、雨水や雪解け水によって地下水位が上昇することにより浮力が生じて、すべってしまうために引き起こされる。



地すべりを防ぐ対策工事

地すべり対策は、発生の主要因である地下水位を低下させる工事がメインで、地表水をすみやかに下流に流すための水路の整備や地下に穴を掘って地下水を抜く対策などがある。



しゅうすいせいこう 集水井工

地すべりを抑止するため、地表から直径4m程度の井戸を掘り、井戸内部からすべり面に向けて、横方向に排水用井戸を設けて地下水を抜く施設。



地すべりと農地

地すべり地は、地すべり活動によって緩やかな斜面が形成されるため、農地として利用されることが多く、古くから棚田などが造られ農業が営まれてきた。湧水や地下水が豊富なので、おいしいお米の産地でもある。

地すべりから 農地を守る仕事人

鶴岡市鬼坂峠



木が傾いていないかなどを目安に、斜面の異常をチェック!!



鬼坂峠地区巡視員 後藤 勇さん

地すべりを監視する巡視員

山形県内には、多くの地すべり区域があり、地すべり区域の安全を担うのが、農地すべり防止区域巡視員”である。月に一度の日常点検のほかに、集中豪雨や地震等の緊急時にも施設を点検し、地域の安全安心のため、地道な活動を行っている。

巡視員の一日

庄内平野を遠くに望む中山間地域の静かな農村集落、鶴岡市坂野下に位置する鬼坂峠地区。この地区で巡視員を務めている後藤勇さんの点検に同行した。点検するのは井戸（集水井）。この地区には4箇所の井戸があり、地すべりの原因となる地下水の上昇を防いでいる。また斜面に亀裂・陥没がないかなども点検、全て異常はなかった。

過去には、大雨が降った後に田んぼの法面（のりめん）が崩れたこともあったが、後藤さんがいち早くその事態に気づき、被害の拡大を防止したこともある。

このような方々の日頃の活動により安全が支えられていることも覚えておきたい。

巡視員 後藤さんの仕事

日常点検(月1回)

区域内の施設をチェックし、報告書を総合支庁に提出

定期点検(融雪時)

総合支庁職員とともに点検

緊急時点検

緊急時（集中豪雨、長雨、地震時）は、被害の有無に関わらず緊急点検を実施して総合支庁に報告



集水井の点検